



消防学校 ニュース



令和5年5月号

令和5年度のはじまりに当たり

令和5年度が始まり、我が消防学校も初任教育初任科学生 117人（うち女性 10人）が入校しました。我々教職員一同、若者たちの熱い気持ちをしっかりと受け止め、地域防災力強化のため、適正な教育訓練を行ってまいります。

また、新型コロナウイルスの感染には細心の注意を払い、安全管理を徹底していきます。今後とも、皆様の御理解と御協力、よろしくお願い申し上げます。

静岡県消防学校長 三沢 泰

初任教育初任科第94期

入校受付

～最初の難関 頑張れ！～



一同整列！



「やり直し」です

4月6日（木）、初任教育初任科の入校式です。入校生にとって最初の大きな関門は、恒例の入校式前の本校教官による入校受付と入寮受付です。

足並み、声の大きさ、整列の仕方、服装などを受付の教官が、厳しくチェックしていきます。

「声が小さい」「列が揃っていない」「駆け足が揃っていない」「敬礼が揃っていない」

「もう一度、駆け足で戻り、やり直し」

各所属で指導を受けてきていますが、この手厳しいチェックに、一度でパスすることは滅多にありません。教官からの注意があれば、順番待ちの列の最後尾に戻ってやり直しとなります。

このように、学生は初めて体験する指導により、消防学校では、今までの『学生』と違い、消防士として、社会人として、気を引き締めてしっかりと学んでいかなければならない事を自覚したことと思います。

入校式

～期待と不安 緊張の中での入校式～



三沢消防学校長式辞



黒田静岡県危機管理監祝辞



池田静岡県消防長会会長祝辞



宣誓書を手渡す入校生代表

4月6日（木）午前10時から、県内の各消防本部（局）から集まった初任科第94期の入校式を行いました。

初任科生は、約6か月間、消防の知識、技術、心構えなど消防職員としての基本を身に付けるべく、厳しい教育訓練を受けます。

入校式では、黒田静岡県危機管理監、池田静岡県消防長会会長（静岡市消防局長）から温かい励ましのお言葉をいただきました。学生達は、各々の志を再確認し、改めて頑張ろうと思ったことでしょう。

また、入校生代表が気合十分に宣誓書を読み上げ、117人分の宣誓書を学校長に手渡しました。

消防職員初任教育
初任科
（第九十四期）
入校式

○初任科第94期 所属別内訳（117人）

東部地区		中部地区		西部地区	
消防本部名	人数	消防本部名	人数	消防本部名	人数
下田	3	静岡	23	御前崎	4
駿東伊豆	23	志太	5	菊川	0
熱海	3			掛川	2
富士山南東	6			袋井	4
御殿場	10			磐田	4
富士	10			浜松	14
富士宮	3			湖西	3

(担当教官から)

「君がつまずいてしまったことに興味は無い。そこから立ち上がることに興味があるのだ。」
主担当として、初任科第94期の方針をこのように銘打ちました。消防職員として1歩目を踏み出した学生たちは、日々失敗を繰り返します。我々教官は、失敗を注意することはもちろんですが、次にどのような姿勢で臨むのかを重点に指導します。教授された学生が、次にどう応え体現するのかを我々は見守っています。学生が学ぶことは多岐にわたりますが、我々は、まずは消防の根底にある規律と節度の教示から始めて行きます。

教務課主査 山田 友也 (静岡市消防局から派遣)

初任科の始まり

いよいよ訓練スタート

訓練礼式



機器取扱訓練



消防活動訓練



総代・副総代選挙結果

～頑張れ総代! 副総代!!～

区分	氏名	所属
総代	岩本 達明	浜松
副総代 (1組)	石井 敢太	駿東
副総代 (2組)	石橋 駿	駿東
副総代 (3組)	佐藤 貫太	静岡



総代 岩本学生

入校して約1か月が経過した4月28日(金)に、初任科第94期の総代、副総代を初任科生の投票で選出しました。

総代は、初任科第94期全体から1人、副総代は各クラスから1人ずつを選出しました。

代表として選出された4名については、これからの長い期間、それぞれのまとめ役として、同期に強い連帯感が生まれるよう、強い意思と広い視野、細やかな心遣いをもってリーダーシップを発揮してもらいたいと期待しています。

非常呼集

～大規模災害発生！ 直ちに屋内訓練場へ参集せよ～



4月18日(火)18時30分に非常呼集を実施しました。目的は、「①迅速出動の徹底」「②非常食・非常用飲料水等の携行状況の確認」、「③消防職員としての心構えの確立」です。

参集先の屋内訓練場では、持ち物を一人ずつ、教官が厳しくチェックしました。

最初に集合した者から最後の者が集まるまでの時間には、まだまだ大きな差がありました。これから、日ごろの準備と心構えをしっかりと学んでいき、全員がより早く集合し活動できる態勢を整えることを目指します。

(担当教官から)

大規模災害時における迅速出動のための事前準備及び非常食の重要性を認識させ、消防職員としての心構えを養うことを目的に、第1回非常呼集を実施しました。長期間の災害活動に対応すべく、教官からの指示は、入校時に各自で準備した非常食や飲料水、ラジオなどの携行です。全学生が集結した後、教官による装備品や携行品の点検を行った結果、約40人の不備がありました。

我々は、時に不眠不休で地域住民のために災害活動を継続しなければなりません。そのような場面で、ひとつでも準備品に不備があれば、途中で離脱することになります。学生には、今から自己の備えを学ぶよう指導しました。

教務課主査 山田 友也 (静岡市消防局から派遣)

視察督励

～しっかりと学んで、一人前になることを期待しています～



所属学生と昼食を一緒にとり、激励



井上消防長

毎年、学生が所属している各消防本部から消防長が来校して、学生の様子を把握し、学生を励ましています。今年は5月10日（水）から始まり、初回は下田消防本部 井上消防長が来校されました。学生と会食をすることで、学生は緊張の中でも、所属が自分達をしっかりと見守り応援してくれていると感じ、今一度身が引き締まり、午後の訓練にも力が入っていました。このように、当校では、学生の所属機関と協力して学生を育てています。

三沢校長から一言

はじめまして！

静岡県消防学校長の三沢 泰（みさわ やすし）です。

河津町の出身です。

わが家の目の前から河津桜の堤がはじまり、満開の時季にはそれは見事な光景が広がります。桜祭りの会場からは4kmほど離れているため、観光客もほとんどいない穴場です。

堤を下るとみかん畑があり、甘夏、ニューサマーオレンジ、ポンカン、青島温州に加えて柿、栗、梅にミョウガと季節ごとの収穫を楽しんでいます。

さて、5月9日（火）から19日（金）までの二週間、東京の調布市にある消防大学校で消防の心意気を学んでまいりました。

この年齢になって二週間も座学をするとは思いませんでしたが、全国の仲間と有意義な時間を過ごしました。

現在、消防学校では、117名の初任科生が消防活動の基礎を学んでいます。私も彼らに負けない立派な消防人になれるよう日々努力したいと思っています。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1
☎ 054-369-1190 FAX: 054-369-1197 E-mail: fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞご覧ください。

静岡県消防学校

検索

